

お祝い
今年度米寿になられる方

【上野町】	岡本達子さん 栗原勝江さん 白方須磨子さん 白方節子さん 砂野和美さん 西岡忠志さん 野中朋子さん 平田ミチ子さん 松岡佐和子さん	【西方町】	渡辺千代子さん 白形サワ子さん
【惠原町】	大森研造さん 清水弘光さん 平岡幸子さん	【東方町】	大本菊江さん 鈴木房子さん 田川保子さん 野中マサ子さん 松田惇さん 松本ミドリさん
【天橋町】	今井彊さん 末松ヨリ子さん	【久谷町】	新崎弘さん 高橋正夫さん 高月享子さん 田中千江美さん 富岡ヒデコさん 横平千恵子さん 渡部マエさん
【上川原町】	小川清治さん	【窪野町】	相原富貴子さん 相原ミツルさん 大野洋子さん 武智政輝さん 谷忠徳さん 中川勲さん 中川重美さん 延岡功さん
【小村町】	岩佐千里さん	【浄瑠璃町】	林美沙子さん 渡邊綾子さん
【津吉町】	武智直行さん 宮脇ミエ子さん 森田勝さん 森田八重子さん 渡部英子さん		

「地域で取り組む
瞬間ボランティア」

久谷地区青少年健全育成連絡協議会
久谷駐在所連絡協議会

会長 長沼賢治

久谷地区青少年健全育成連絡協議会は、「少年の非行防止・健全育成のためには、警察などの行政機関のみならず、地域住民自らが「地域の少年は地域で育てる」との意識を持って自発的な取組を行うことが必要」との観点から昭和五十九年に当会現顧問永山伸二氏を含むメンバーで発足されました。そして今日まで、警察等と協力し街頭補導活動や相談活動等の諸活動を推進しています。

各学期毎に、久谷駐在所連絡協議会と併催の協議会を行い、学校関係者のみならず、地域各団体代表のご意見をいただきながら、教育現場の実態報告や青少年の問題行動の早期発見、通学路等の安心安全のための提案を続けています。それらの活動が、久谷中学校横の広域農道に横断歩道を設置し、歩道部分の自転車通行の許可、県道194号線の路面速度表示（三十キロ）、区画線の整備など通学路の安全確保につながりました。

また、平成二十三年からは青パトを使用した防犯パトロールも実施し、現在四台の青パト車両が地域の安心安全を見つけています。

連絡協議会は、青少年育成支援委員、少年警察ボランティア協会をはじめ民生児童委員、小中学校3校の校長・教頭、生徒指導主事・PTA等々約九十名の皆

様方で構成され、月に二回の夜間パトロールに参加くださる方、ご自宅近くの公園を見守ってくださる方、児童生徒の通学時に横断歩道で見守り、笑顔で「おはよう!」「お帰り!」と声掛けをいただける方々に支えられています。地域に暮らす住民それぞれが青少年のために、今自分出来る事に取り組む事、それが「瞬間ボランティア」であり、久谷地区の安心安全が保たれているのは、そういったお気持ちを持たれた多くの人々のおかげだと感謝申し上げます。コロナ禍の今、集団での補導活動が叶わない時だからこそ、まさにこういった地域力が発揮されると考えます。

昨年協議会の構成メンバーの一つである、松山南地区少年警察ボランティア協会久谷支部は、少年の非行防止と健全育成の活動に永年尽力し、多大の功労があったと認められ「令和二年度全国少年補導功労団体」として、警察庁長官及び全国少年警察ボランティア協会会長から表彰を受けました。

こういった受賞を励みに、今後とも青少年の健全育成はもとより、地域の安心安全の為に活動を続けてまいります。

久谷地区の皆様におかれましては、私どもの活動に今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



表彰状を持つ永山顧問

荏原小学校
「平和な世界へ」

荏原小学校では、六年生が総合的な学習の時間に「平和な世界へ」をテーマに学習しています。今年度も児童一人一人が、平和な世界の実現に向けて何が大切かを考えました。

六月には、カンボジアで地雷撤去の活動をされている講師をお招きし、講話をしていただきました。地雷によって当たり前の生活が一瞬で奪われてしまうこと、何十年前の戦争で埋められた地雷が未だに残っていることなど、日本に住んでいるとなかなか感じることでできない平和の大切さについて考えることができました。途中でカンボジアの小中学生とオンラインでつながり、リアルタイムでの双方向のやり取りを楽しみました。「言葉は正確には伝わらなかつたけど、相手を思う気持ちは伝わる。世界中の人と仲良くなりたい。」という児童の感想が印象的でした。

また、別の機会には、大阪で空襲を体験された方とオンラインで、講



話をしていたいただきました。勉強のためには大阪に進学したのに、戦争のための労働しかさせてもらえなかったこと、空から次々と落ちてくる焼夷弾の恐怖など、実際に体験されたからこそ感じる思いを語っていただき、児童も真剣に聞くことができてきました。「戦争の恐ろしさを改めて感じる事ができた。これから、今の自分たち出来ることを考えていきたい。まずは、荏原小学校のみんなが仲良くなれるように、六年生として手本になりたい。」などの感想もつことができました。

今後も、地域の方々から様々なことを学び、成長する荏原っ子でありたいと思います。

NPPO法人「貫洞」(Kuan-dou)

障がい者就労継続支援B型事業所

障がい者就労継続支援B型事業所として、平成三十年十一月一日に活動を開始しました。今年で丁度三年が過ぎようとしています。社会の中でどこか生きづらさを感じる方がホッとすることが提供したくて、平成二八年にNPPO法人を設立しました。事業が始まる二年前のことです。さて、どういふ事業を展開しようかと設立発起人会で話をすると、色々なアイデアが飛び交います。対象は色々あります。障がいのある人、高齢者、児童、認知症の方...

NPPO法人「貫洞」って変わったお名前です。ねとよく言われます。一貫洞の意味ってあるのですか?とだいたいの方が聞いてこられます。名前を一貫洞とした私の思いを少しだけ聞いてください。誰にも特徴がありません。良い特徴もあればあまりうれしくない特徴もあります。ね。障がいとは言えないが足の痛い人、腰の痛い人、心にわだかまりのある人...でも、薬を飲んだからといって、たちまち無くなる訳ではありません。一生その生き辛さと付き合っていくのです。皆が持っているその一病を生涯にわたって持つていく(貫く)ということです。自分の境遇を問わず、おごらず、自分らしくほがらかに(洞)生きていこうと、一貫洞としました。

序章に戻りますが、事業内容を考えるにあたり、最終的に「どんな人が来て下さってもホッとする場所でありたい」ということで決まりました。ホッととする場所には飲み物があつた方がよいね。なら食事もあつたら良いね。誰もがくつろげる場所があつたら良い



田園風景の中で野菜を育てています
地域の方も食事されおしゃべりをします
近所の子供さんも勉強に取り組みます

●住所／松山市中野町甲361 ●連絡先／089-909-9010
●事業内容／軽食喫茶・農業活動・しゃべり場提供
お気軽に一度お越しください。